

評価と振り返り

なぜ評価と振り返りが大切なのか？

特別活動の原則は「為すことによって学ぶ」ですが、ただ活動を繰り返すだけではもったいないです。特別活動を通して資質、能力を育むには、「評価と振り返り」が重要です。活動後に「振り返り」を行い、それを「評価」し、フィードバックすることで「個」と「集団」が高まっていきます。

自己評価と相互評価

話し合い活動や実践活動のあとに自己評価や相互評価の場を設定し、結果だけではなく活動の過程を振り返ることで、自分の成長を実感し、次は何をどのように頑張るかという新たな目標が生まれ、「個」の成長につながります。

「何ができるようになったか」
→ 成長実感、成長自覚

「次もみんなで楽しく活動したい」

→ 次の活動への意欲

「次は〇〇を頑張ろう。」

→ 新たな目標

話し合い活動の振り返りを通して、合意形成を図るために必要な話し合いの仕方が身に付き、次の話し合い活動につながるようにするとともに、実践活動への意欲を高めることができるようにしましょう。

また、自己評価だけではなく、子ども同士による相互評価の場を設定することで、自信を深めたり、自分だけでは気付かなかったことに気付いたりすることができます。

教師による他者評価

教師が、子どもたちに自らの成長に気付くことができるような関わりをすることで、一人一人が自己の変容を実感できるようにします。そうすることで、自分の成長をなかなか見付けられない子どもたちも成長を自覚することができます。

振り返りの内容を全体にフィードバックすることで、考えを広げたり深めたりすることができ、「集団」の成長にもつながります。

評価規準

教師がどのように関わるかを考える際に欠かせないのが評価規準です。活動を通してどのような姿を目指すのかを明確にすることで、どのように関わっていくか、どのように評価するかが見えてきます。学年の発達段階や学級の実態を考え、評価規準を設定して取り組んでみましょう。

	計画委員	話し合い活動	事後の活動
1年	・どんなことを話し合ったらよいかを教師とともに考えることができる。 ・教師が進行する学級会において、司会や記録の役割を果たす方法を理解している。	みんなで相談するよさを理解し、教師と共に話し合って決める方法を身に付けている。	話し合って決めたことを理解し、教師の助けを借りながら、楽しく活動する方法を身に付けている。
2年	・どこを中心に話し合ったらよいかを教師とともに考え、計画することができる。 ・教師の助けを借りながら、学級会の司会や記録の仕事を理解し、手伝う方法を身に付けている。	話し合いの進め方に合わせて、自分の意見の伝える方法を身に付けている。	話し合って決めたことを理解し、教師の助けを借りながら、集団活動に楽しく参加する方法を身に付けている。
3年	・教師とともに計画委員会で進行の準備を考え、提案の準備をすることができる。 ・学級会の進め方を理解し、教師の助けを借りながら、シナリオに合わせて進行し、記録する方法を身に付けている。	話し合いの進め方や意見の出し方、友達の見解の聞き方を理解し、話し合う方法を身に付けている。	話し合って決めたことをもとに、自分の役割を果たしながら、集団活動に協力して取り組む方法を身に付けている。

(資料：ハンドブック P8 評価規準表)

では、どのような評価方法があり、どのように評価をするとよいのでしょうか。ここでは、「学級活動(1)」に焦点を当てていくつか紹介します。

話し合い活動～学級会ノートを見直そう～

学級会ノートの振り返り ～振り返る視点を明らかに～

「振り返りを書いてみよう。」という教師の問いかけに「何を書いたらよいのか分からない…」とつぶやく子どもたちの声を、私は何度も聞いてきました。**振り返りの視点を示す**ことによって、子どもたちの振り返りに変容が生まれるのではないのでしょうか？普段活用している学級会ノートを、見直してみませんか？

【表面】学級会の振り返り



第 回 学級会ノート			
日時	月 日 ()	時間目	名前
議題	司会	司会	記録 (黒板)
			記録 (ノート)
提案理由	(提案者:)		話し合いの経過
話し合う内容		自分の意見 (理由もしっかり書こう)	
話し合い①	意見	理由	
話し合い②	意見	理由	
決まったこと	話し合い①		
	話し合い②		
自己評価 (◎・○・△)	①理由を付けて、自分の意見を出し合うことができましたか。()		
	②自分と友達のを考えをくらべ合うことができましたか。()		
	③自分もよくて、みんなもよいものに決定することができましたか。()		
	④決まったことをやってみたいですか。()		
○何をくらべ合いましたか？			
○なぜみんなで決めることができましたか？			
○決まったことに向けて、自分はどのように取り組みますか？			

<振り返りの視点(例)>

○何をくらべ合いましたか？

→くらべ合う素地を育成していきます。**選択肢の質の違い**や自分たちが**大切にしたい価値**を振り返ることができます。

○決めるために、自分や、みんなは、何をできましたか？

→**合意形成の方法**や、**友達の意見のよさ**など、合意形成に必要な要素に気付いていけるようにします。

○決まったことに向けて、自分はどのように取り組みますか？

→合意形成したことへの**納得度**、どれぐらい**目的意識・役割意識**をもって活動に取り組もうとしているかを見取ることができます。

児童の実態に応じて振り返りの視点の置き方を工夫

○発達段階や子どもたちに育成したい力を踏まえて、振り返りの視点を絞りましょう。

選択肢の相違点が生まれなまま話し合いが進まず、なかなかくらべ合うことができない…

→**くらべ合う視点**に重点を置いた振り返りを！！



「わたしは～に賛成です。理由は…」と意見を出し合っただけで、なかなか合意形成できない…

→**合意形成をするための視点**に重点を置いた振り返りを！！

※書く量や形式などを工夫して、カードを作成してみましょう。

【裏面】一連の活動の振り返り

月 日 ()	
活動の振り返り	
自己評価 (◎・○・△)	①活動のめあてを考えながら活動できましたか？ () ②自分の役割に、一生懸命取り組むことができましたか？ () ③友達と力を合わせて、みんなで楽しんで活動できましたか？ () ④活動を通して、学級目標に近づくことができましたか。 ()
○自分の成長・次へのもっと	
○友達のよさ・頑張り発見	
○クラスの成長	
○クラスの課題・次へのもっと	

<振り返りの視点(例)>

①自分の成長・課題

- ・今回の活動のめあての〇〇を考えながら、友達と協力して取り組めた。
- ・次は自分の苦手な～にも、取り組んでいけるようになりたい。

②友達のよさ・頑張り

- ・〇〇さんの取り組み方がよかったよ。
- ・今まで気付かなかった〇〇さんの～なよさが見えたよ。

③集団(クラス)の成長

- ・前より〇〇の力が高まった。
- ・前の活動より、クラスみんなで〇〇ができるようになったところが変わったよ。

④集団(クラス)の課題・次に目指す姿

- ・今回の活動では～だったから、もっと〇〇クラスになっていきたい。
- ・もっと〇〇な活動をしていきたい。

児童の実態に応じて

○児童の負担にならないように、発達段階に応じて、「〇〇だけは書いてみよう。」と書く内容を絞ってもよいですね。学年が上がるにつれて、4つの視点で書けるように教師が関わっていきましょう。

自己の変容を 実感できる 振り返り

～教師の価値付け～



子どもは無意識に自己や集団の変容を振り返りに綴ります。そのような子どもの無意識の変容は、教師の価値付けによって、意識化できるのではないのでしょうか？

一連の活動を終えて、教師の価値付けが曖昧だと、子どもたちも「なんとなく、みんなでやり遂げてよかった。」「なんとなく、話し合って決まってよかった。」と終わってしまいます。

学級会ノートの中の振り返りや、学級での集団の振り返りの中で**教師が具体的な姿で価値付けること**によって、子どもは、個や集団の成長や課題を意識化できるのだと思います。

【実践例】

自己評価 (◎・○・△)	①理由をつけて、自分の意見を出し合うことはできましたか。(○) ②自分と友達のことを考えをくわへ合うことができましたか。(◎) ③自分のよくて、みんなもよいものに決定することができましたか。(◎) ④決まったことをやってみてください。(○)
○学級会でのクラス・自分の成長・課題	成長前はあまり発表できなかったけどできた。
○決まったことに向けて自分はどうのように取り組んでいくのか	はたを見て日本車を止めて近くの人から声をかける。 5分くらい、この間に声をかけたい。 声をかける

自己評価 (◎・○・△)	①理由をつけて、自分の意見を出し合うことはできましたか。(△) ②自分と友達のことを考えをくわへ合うことができましたか。(○) ③自分のよくて、みんなもよいものに決定することができましたか。(○) ④決まったことをやってみてください。(◎)
○学級会でのクラス・自分の成長・課題	学級会のクラスが一番いいと思いました
○決まったことに向けて自分はどうのように取り組んでいくのか	学級会のクラスで自分を取り組んでいくことがんばります

- ・前はあまり発表できなかったけどできた。
- ・学級会をするクラスが一番いいと思った。
- ・たくさん意見を言うことができた。

など

振り返る視点を設定

自己評価 (◎・○・△)	①理由をつけて、自分の意見を出し合うことはできましたか。(△) ②自分と友達のことを考えをくわへ合うことができましたか。(○) ③自分のよくて、みんなもよいものに決定することができましたか。(○) ④決まったことをやってみてください。(◎)
○何をくわへ合いましたか?	とけいを見ていかにまにあうか、近くのかこえをかけるか
○なぜみんなで決めることができましたか?	いらいはいかにまにあうか、みんなかなとくしたため
○決まったことに向けて自分はどうのように取り組みますか?	今日決められたことを明日からまにあうように頑張ります

自己評価 (◎・○・△)	①理由をつけて、自分の意見を出し合うことはできましたか。(◎) ②自分と友達のことを考えをくわへ合うことができましたか。(◎) ③自分のよくて、みんなもよいものに決定することができましたか。(◎) ④決まったことをやってみてください。(◎)
○何をくわへ合いましたか?	時間を意識する。はたを見ると声をかけるのがいいかなのか。
○なぜみんなで決めることができましたか?	みんなが納得する意見を出し合って、その意見にみんなも同意していたから。
○決まったことに向けて自分はどうのように取り組みますか?	近くの人から声をかけるためには、その「近くの人」が時間意識しないといけないから、じきょうに間に合うように声をかけるようにする。

【何をくわへ合ったか】

- ・「声をかける」「時計を見る」の二つの意見をくわへた。
- ・自分の意見と友達のことを考えをくわへた。
- ・二つの意見のちがいは何かをくわへ合った。

など

【なぜ決めることができたか】

- ・司会が上手にまとめてくれたから。
- ・心配なことが出た時に解決する意見を言ってくれたから。
- ・みんなが納得できる意見を探ったから。

など

【どのように取り組むか】

- ・まずは自分が時間を意識して、近くに人に声をかける。
- ・得意ではないけれど、頑張ってみようと思う。

など

振り返る視点を設定することで、話し合う時に大切なことへの気づき生まれ、話し合う力が高まっていきます。

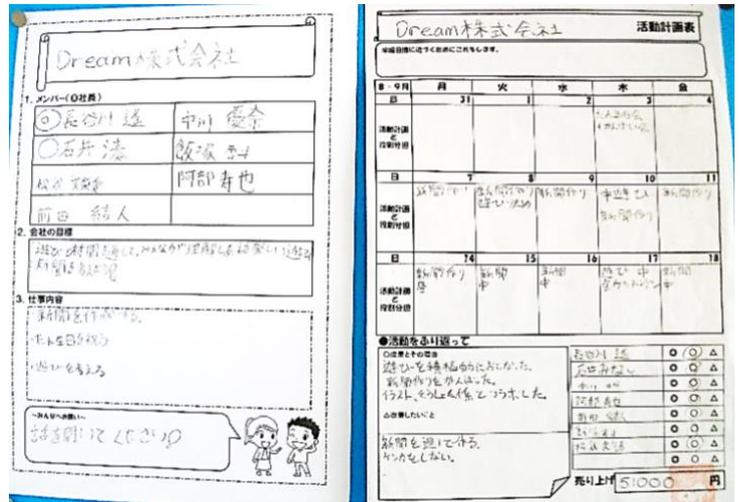
何をどう振り返るのかという「振り返り方」が分かるので、どの子も振り返ることができます。

係活動

【立ち上げ・計画】

○係ポスター・計画表

係ポスターを作成し、みんなで楽しい学級生活をつくるために発意・発想を生かしたものがどうかを評価していきます。5年生では、活動計画を立てることが評価規準に加わってきます。具体的な活動計画を立てることなどの様子から評価することができます。



【自己評価と関連させて】

○ランチミーティング

週に1度曜日を決めて、係で集まって給食を食べながら活動状況を確認したり、見直しをしたりします。

○係ノート、計画表

ノートを作って、週に一度は会議を行い、活動状況や今後の計画などについて記録するようにします。

○定期交流会

定期的に代表者が集まり情報交換会を行い、活動計画を紹介アドバイスなどを行います。

○振り返りカード

項目に評価規準を参考にして作成します。左のカードは5年生で使用しているものです。項目に5年生の評価規準だけを入れるだけではなく学年を低学年のものから入れることで、学級が現在どの段階にいるのかを把握することができます。

書いてある内容に、友達と協同したことへの達成感や次の活動への見通しをもつことができれば、十分満足できる活動の状況であると考えます。

【相互評価と関連させて】

○係への提案カード・ありがとうカード

他の係にアドバイスしたり、互いの係のがんばりに気付いたりする活動を通して、協同しながら学級生活をよくしようとしているところを評価していきます。

9月23日～10月9日 係活動ふり返り

名前(木公谷 芽梨愛)

◎:よくできた ○:できた △:もう少し

【自分の係】

計画通りに活動することができた。	◎ ○ △
仲間と協力することができた。	◎ ○ △
自分や仲間のよさを見つけた。	◎ ○ △
活動を工夫したり、他の係とコラボしたりすることができた。	◎ ○ △
学級目標に近く活動ができた。	◎ ○ △
今回の総合評価	◎ ○ △

【他の係】

他の係の取り組みに積極的に参加した。	◎ ○ △
他の係のよさを見つけた。	◎ ○ △
他の係に助言したり、リクエストしたりすることができた。	◎ ○ △

【今回の MVP 係】

体育会社	大きな力が出来なくてうまく、対応していきたくて、
------	--------------------------

【ふり返り・次の活動に向けて】

新しい企画を企画してそれを実行する。
新聞を1週間1回は1人が読んでみんなが読んでくれるよう記事を開きつくる。1つおき言動

○係コーナー

係活動コーナーを作成し、係ポスターや係新聞などを掲示します。係ごとの情報発信、係同士の交流の場として活用していきます。係ごとにポスターや新聞を評価の参考にすることも考えられます。また、それと共にみんなの声を書くコーナーも設け、係への要望やよかったことを書けるようにします。

○帰りの会

当番活動と同様に、「よいところみつけ」などのコーナーで楽しかった活動やがんばって活動していた友達、役にたったことなどを紹介します。教師からも、紹介していくとよいです。

体育会社 さん へ

- ①よかったところ・うれしかったことを伝えます。
- ②こんなことをやってみてはどうですか？提案します。
- ③こうしたら、もっとよくなると思います。アドバイスします。
- ④こんなこと一緒にしませんか？コラボしたいです。
- ⑤その他

毎週リレーとしてやりましたありがとうございます
もし足が速くない人は毎週はやたさと思うので
すしちかうきかもしてみたらどうですか？
毎週たのしみにしています！

大西 美晴 より

大西美晴 さんへ

2週間に1かいなわとびをし
ます。
なわとびとソレーリがりにま
たういあそびをかんがえています。

体育会社 より

【イベントと関連させて】

○係発表会

一人一人の成長が学級全体の成長へとつながるように、「係活動発表会」を開催してみましよう。係ごとに取り組みを紹介し、認め合う時間をもつことで子どもたちがお互いのよさやがんばりに気付けるようにします。そして、教師の価値づけにより、その良い点をさらに伸ばし、もっと学級の中でさらに生かしていくことで学級全体の高まりにつながっていきます。

プログラム例（低学年向き）

- ①各係からの発表
 - ・どんな仕事をしたかな？
 - ・がんばったことは何かな？
 - ・友達からの質問や感想
- ②先生から

プログラム例（中・高学年向き）

- ①はじめの言葉
- ②各係からの発表
- ③質問・感想タイム
- ④表彰式
- ⑤先生から
- ⑥終わりの言葉

○係賞の設定

お互いのよさを認め合う場として係賞を設定することで、みんなのために取り組んだ活動が認められた満足感が次の活動意欲へとつながっていきます。高学年では、学級会の議題として係の反省を取り上げるのもよいですし、賞状やメダルを贈り合うことも係活動が活性化することにつながります。評価の視点を子どもたちに意識させることができます。先生からも賞状を送ると今後どのような活動を行えばよいのか考える材料になります。

内容	学級活動(1) 学級や学校における生活づくりへの参画				学級活動(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全				学級活動(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現			
	形態	計画委員	話し合い活動	事後の活動	係活動	集会活動	【評価規準】	【評価規準】	【評価規準】	【評価規準】	【評価規準】	【評価規準】
評価規準 よりよい生活 を築くための 知識・技能	1年	・どんなことを話し合ったらいかを教師とともに考えることができる。 ・教師が進行する学級会において、司会や記録の役割を果たす方法を理解している。	みんなで相談するよさを理解し、教師と共に話し合っって決める方法を身に付けている。	・話し合っって決めたことを理解し、教師の助けを借りながら、楽しく活動する方法を身に付けている。	・みんなが学級を楽しくするために係活動に取り組むことの意義を理解している。 ・自分の役割が分かる。	低学年 集会活動の楽しさを知り、自分の八級について理解している。	低学年 1年 ・自分の身の回りの課題を解決するための取組は大切だということを分かっている。 ・自己実現を図るために必要な方法を身に付けている。	低学年 希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことは大切だということを分かっている。 ・自己実現を図るために必要な方法を身に付けている。				
	2年	・どこを中心に話し合ったらいかを教師とともに考え、計画することができる。 ・教師の助けを借りながら、学級会の司会や記録の仕事を理解し、手伝う方法を身に付けている。	話し合いの進め方に合わせて、自分の意見の伝える方法を身に付けている。	・話し合っって決めたことを理解し、教師の助けを借りながら、集団活動に楽しく参加する方法を身に付けている。	・みんなが学級を楽しくするために係活動に取り組むことの意義を理解している。 ・活動をするために必要な方法を身に付けている。	低学年 2年 簡単な役割分担や準備の仕方を身に付けている。	低学年 2年 ・基本的な生活を送るためには、「何を」「どのように」行うとよいか分かっている。 ・基本的な生活を送るための方法を身に付けている。	低学年 2年 ・「なりたいたい自分」を意識し、目標を達成するために「何を」「どのように」行うとよいか分かっている。 ・自己実現を図るために必要な方法を身に付けている。				
	3年	・教師とともに計画委員会で進捗の準備を考え、提案の準備をすることができる。 ・学級会の進め方を理解し、教師の助けを借りながら、シナリオに合わせて進行し、記録する方法を身に付けている。	話し合いの進め方や意見の出し方、友達の意見の聞き方を理解し、話し合う方法を身に付けている。	・話し合っって決めたことをもとに、自分の役割を理解し、分担した役割に協力して取り組む方法を身に付けている。	・当番活動との違いなど、みんなが楽しい学級をつくるために他者と協働して係活動に取り組む意義を理解している。 ・自分たちの係のよさが分かり、創意工夫を生かした活動に必要な方法を身に付けている。	中学年 3年 集会活動の進め方や役割分担の方法について理解している。	中学年 3年 ・日常生活の課題を解決するための取組は大切だということを分かっている。 ・よりよい生活を送るための方法を身に付けている。	中学年 3年 希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことの意義を理解し、 将来への展望をもつ 。自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。				
	4年	・教師の助言をもとに計画委員会を運営し、話し合うことや順序などの活動計画を立てることができる。 ・学級会の意義(大切さや価値)を理解し、シナリオに合わせて進行し、記録する方法を身に付けている。	話し合いの進め方を理解し、進め方に沿って自分の意見を伝えたり、友達との意見を聞いたりすることができる。	・話し合っって決めたことをもとに、自分の役割を理解し、分担した役割を果しながら、集団活動に協力して取り組む方法を身に付けている。	・当番活動との違いなど、みんなが楽しい学級をつくるために他者と協働して係活動に取り組む意義を理解している。 ・係活動の改善の方法が分かり、創意工夫を生かした活動に必要な方法を身に付けている。	中学年 4年 計画や運営、準備など活動に必要な方法を身に付けている。	中学年 4年 ・よりよい生活を送るためには、「何を」「どのように」行うとよいか分かっている。 ・よりよい生活を送るための方法を身に付けている。	中学年 4年 ・将来のことを意識しながら「なりたいたい自分」を意識し、目標を達成するために「何を」「どのように」行うとよいか分かっている。 ・自己実現を図るために必要な方法を身に付けている。				
	5年	・計画委員会で、話し合いの具体的な計画を立て、必要な資料や運営の準備を能率よく整えることができる。 ・学級会の意義(大切さや価値)を理解し、シナリオに合わせて進行し、要点を併せて記録する方法を身に付けている。	議題提案の仕方が分かり、提案されたことについて自分の意見を伝えたり友達の意見を聞いたりする方法を身に付けている。	・話し合っって決めたことをもとに、みんなのために役割を果たす大切さを理解し、準備したり、活動したり、振り返ったりする方法を身に付けている。 ・自主的に活動できる範囲で運営を工夫する方法を身に付けている。	・みんなが楽しく豊かな学級生活をつくるために係活動に取り組むことの意義を理解している。 ・係以外の友達の意見や要望を取り入れながら、創意工夫を生かした活動に必要な方法を身に付けている。	高学年 5年 集会活動の意義や運営方法について理解している。	高学年 5年 ・健全な生活を送るためには、「何を」「どのように」行うとよいか分かっている。 ・健全な生活を送るための方法を身に付けている。	高学年 5年 ・何のために働くのか、何のために学ぶのかを分かっている。 ・自己実現を図るために必要な方法を身に付けている。				
	6年	・計画委員会を自主的に運営し、有意義な話し合いになるように活動計画を立て、必要な資料や運営の準備を能率よく整えることができる。 ・学級会の意義や計画委員会の役割、計画的な進め方を理解し、活動計画をもとに、合意形成に向けて効果的に話し合いを進行し、多様な考えを分かりやすく分類しながらまとめて記録する方法を身に付けている。	提案された議題と提案理由を理解し、提案理由に沿って自分の意見を伝えたり友達の意見を聞いたりする方法を身に付けている。	・話し合っって決めたことをもとに、よりよい学級生活をつくる大切さを理解し、準備したり、活動したり、振り返ったりする方法を身に付けている。 ・自主的に活動できる範囲で運営を工夫する方法を身に付けている。	・みんなが楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために係活動に取り組むことの意義を理解している。 ・各係の取り組み方の良さや理解し、創意工夫を生かした活動に必要な方法を身に付けている。	高学年 6年 計画や運営、準備など活動に必要な方法を身に付けている。	高学年 6年 ・健全な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。 ・自分で考えたことや決めたことを行うことができる。	高学年 6年 ・自分のよさを生かしながら「なりたいたい自分」を意識し、目標を達成するために「何を」「どのように」行うとよいか分かっている。 ・自己実現を図るために必要な方法を身に付けている。				

内容		学級活動(1) 学級や学校における生活づくりへの参画				学級活動(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全				学級活動(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現							
形態		計画委員		話し合い活動		事後の活動		係活動		集会活動		【評価規準】		【評価規準】			
評価規準	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	1年	・教師とともに、学級会で話しあうべき議題を考ええている。 ・学級会で話しあうことが分かり、自分なりの考えをもっている。	・先生や友達の話の最後まで聞いている。 ・自分と他者の意見の違いを考えている。 ・自分の考えをもち、思ったことをはっきり表現している。	・話し合って決めたことを仲良く実践し、活動の楽しさを味わっている。 ・自分の活動したことがうまくできたかを振り返っている。	1年	・自分はどんな活動をやってみたくかを考えることができる。 ・自分も学級のみんなも楽しめる活動を、つくりあげることができる。	低学年	集会の内容や準備などについて考え、仲良く助け合って実践している。	低学年	自己の身の回りの諸課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	1年	・身の回りの課題について知り、解決方法について自分の考えをもつことができる。 ・解決方法を意思決定することができる。	低学年	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについての課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。	1年	・希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについての課題を知り、解決方法について自分の考えをもつことができる。 ・解決方法を意思決定することができる。
		2年	・教師とともに、学級会で話しあうべき議題を考ええている。 ・学級会の議題の内容や提案理由などを踏まえて、自分の考えをもっている。	・自分と他者の意見を比べながら聞いている。 ・相手の意見との違いが分かり、自分の考えをはっきり言っている。 ・話し合いの進め方によって合意形成を図っている。	・話し合って決めたことを友達と仲良く助け合って実践し、活動の楽しさを味わっている。 ・活動したことが解決に向けてうまくできたかを振り返っている。	2年	・みんなのために活動を考えて、仲良く助け合って実践している。 ・自分も学級のみんなも楽しめる活動を、友達と仲良く助け合いながら活動をつくりあげることができる。	低学年	集会の計画や運営について、協力しあって実践している。	低学年	日常生活への自己の適応に関する諸課題に気づき、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	2年	・身の回りの課題について知り、解決方法について自分の考えをもつことができる。 ・解決方法を意思決定することができる。	低学年	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについての課題を知り、解決方法について自分の考えをもつことができる。 ・解決方法を意思決定することができる。	2年	・希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについての課題を知り、解決方法について自分の考えをもつことができる。 ・解決方法を意思決定することができる。
		3年	・教師の指導の下、事前に話し合いの手順を考えたり、計画に沿って進行の仕方を考え、表現している。 ・学級会の議題の内容や提案理由などをしっかりと捉え、解決するための自分の考えをもっている。	・学級全体のことを考えて、発表している。 ・自分の考えを分かりやすくまとめて表現している。 ・教師と共に話し合いの議題を考え、話し合いの進め方によって合意形成を図っている。	・話し合って決めたことについて、協力し合って試行錯誤しながら実践し、活動の楽しさを味わっている。 ・活動したことを振り返って、取り組み方を見直したり、新たな目標を発見したりしている。	3年	・より明るい学級生活をつくるためには、どんな係をつくり、どんな活動をするかがある。 ・友達と協力し合いながら、活発で創意工夫ある活動をつくりあげることができる。	低学年	集会の計画や運営について、協力しあって実践している。	低学年	日常生活への自己の適応に関する諸課題に気づき、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	3年	・日常生活の課題について気づき、解決方法について自分の考えを伝えることができる。 ・解決方法を意思決定することができる。	低学年	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについての課題を知り、解決方法について自分の考えをもつことができる。 ・解決方法を意思決定することができる。	3年	・希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについての課題を知り、解決方法について自分の考えを伝えることができる。 ・解決方法を意思決定することができる。
		4年	・教師の指導の下、事前に話し合いの手順を考えたり、計画に沿って進行の仕方を考え、表現している。 ・学級会の議題の内容や提案理由などをしっかりと捉え、解決するための自分の考えをもっている。	・学級全体のことを考え、実践を見通して考えを進んで発言している。 ・他者の意見を取り入れながら、自分の意見を分かりやすくまとめて表現している。 ・話し合いの議題や提案理由に沿って意見を考え、合意形成を図っている。	・話し合って決めたことについて自分の役割を果たしながら、協力し助け合って実践している。 ・活動したことを振り返って、追求の仕方を見直したり、新たな目標を発見したりしている。	4年	・より明るい学級生活をつくるためには、どんな係をつくり、どんな活動をしたらよいのかを考えることができる。 ・友達と協力し合いながら、創意工夫ある活動をつくりあげることができる。	低学年	集会の計画や運営について、協力しあって実践している。	低学年	日常生活への自己の適応に関する諸課題に気づき、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	4年	・日常生活の課題について気づき、解決方法について自分の考えを伝えることができる。 ・解決方法を意思決定することができる。	低学年	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについての課題を知り、解決方法について自分の考えをもつことができる。 ・解決方法を意思決定することができる。	4年	・希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについての課題を知り、解決方法について自分の考えを伝えることができる。 ・解決方法を意思決定することができる。
		5年	・解決しなければならない諸問題の中から、学級会で話し合うべき議題を選んでいる。 ・学級会の議題の内容や提案理由などをきちんと理解し、解決するための具体的な方法を考え、表現している。 ・教師の指導の下、事前に合意形成に向けた話し合いを見通して計画を考え、表現している。	・経験や体験を生かして、実践可能な建設的な考えを進んで発言している。 ・他者の考えの視座をつかみ、自分の考えと比べながら整理し、要点をまとめて分かりやすく表現している。 ・理由などを比べ、友達の意見を受け入れて、考えたことを伝え、合意形成を図っている。	・話し合って決めたことについて、自分や仲間と協力し合いながら実践し、仲間と共に活動をつくり上げる楽しさを味わっている。 ・目標に向かって試行錯誤しながら活動し、効果的な追求の仕方を見直している。 ・自分から進んで活動内容や方法を振り返って、追求の仕方を見直したり、新たな目標や問題を見直したりしている。	5年	・より豊かな学級生活をつくるためには、どんな係をつくり、どんな活動をしたらよいのかを考えることができる。 ・見通しをもって活動計画を立て、信頼し支え合って実践している。 ・自分のよさを十分生かし、友達を信頼し互いに支え合いながら、活発で創意工夫ある活動をつくりあげることができる。	低学年	集会の経過つや運営について、見直しをもって活動計画を立てるなど、信頼し支え合って実践している。	低学年	日常生活への自己の適応に関する諸課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	5年	・日常生活の課題を認識し、解決方法について自分の考えを伝えることができる。 ・集団思考をもとに、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定することができる。	低学年	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについての課題を知り、解決方法について自分の考えをもつことができる。 ・解決方法を意思決定することができる。	5年	・希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについての課題を知り、解決方法について自分の考えを伝えることができる。 ・集団思考をもとに、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定することができる。
		6年	・解決しなければならない諸問題の中から、学級会で話し合うべき議題を選んでいる。 ・学級会の議題の内容や提案理由などをきちんと理解し、解決するための具体的な方法を考え、表現している。 ・教師の助言を受けながら、事前に合意形成に向けて効果的な話し合いを見通して計画を考え、表現している。	・経験や体験をもとに実践に向けての見直しをもち、実践可能な建設的な考えを進んで発言している。 ・他者の考えを共感的に理解しながら自分の考えに取り入れて、要点をまとめて分かりやすく表現している。 ・学級生活を楽しくするために、提案理由をもとにして比べ、友達の意見を受け入れて、考えたことを伝え、合意形成を図っている。	・合意形成したことの実現に向けて、互いのよさや違いを生かしながら実践し、仲間と共にやりとげ楽しさを味わっている。 ・目標に向かって試行錯誤しながら活動し、より効果的な追求の仕方を見直している。 ・自分から進んで活動内容や方法を振り返って、追求の仕方を見直したり、新たな目標や問題を見直したりしている。	6年	・より豊かな学級、学年、学校生活をつくるためには、どんな係をつくり、どんな活動をしたらよいのかを考えることができる。 ・見直しをもって活動計画を立て、信頼し支え合って実践している。 ・自分や仲間のよさを十分生かし、友達を信頼し互いに支え合いながら、活発で創意工夫ある活動をつくりあげることができる。	低学年	集会の経過つや運営について、見直しをもって活動計画を立てるなど、信頼し支え合って実践している。	低学年	日常生活への自己の適応に関する諸課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	6年	・日常生活の課題を認識し、解決方法について自分の考えを伝えることができる。 ・集団思考をもとに、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定することができる。	低学年	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについての課題を知り、解決方法について自分の考えをもつことができる。 ・解決方法を意思決定することができる。	6年	・希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについての課題を知り、解決方法について自分の考えを伝えることができる。 ・集団思考をもとに、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定することができる。

内容		学級活動(1) 学級や学校における生活づくりへの参画				学級活動(2) 日常生活や学習への応応と自己の成長及び健康安全				学級活動(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現						
形態		計画委員		話し合い活動		事後の活動		係活動		集會活動		【評価規準】				
評価規準	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	1年	・身の回りの困ったことや自分のやってみたいことを考えようとしている。	・話し合うことについて自分の考えをもち、話し合いの進め方に合わせて、自分の意見を伝えようとしている。	・自分のすることや頑張ることを考えようとしている。	・友達と仲良く活動しようとしている。	1年	・自分がやりたいことを見付け係をつくろうとする。	・自分から進んで係活動に取り組もうとしている。	・友達と仲良く取り組もうとする。	低学年 集會活動を楽しみにし、見通しをもって、振り返ったりしながら取り組もうとしている。	低学年 自己の生活をよりよくするために、見通しをもって振り返ったりしながら、 進んで 課題解決に取り組み、他者と 仲よくして よりよい人間関係を形成しようとしている。	1年	・自分から課題の解決に取り組もうとしている。	・みんなと仲よくしようとしている。	低学年 現在及び将来にわたって よりよく生活 するために、見通しをもって振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて 進んで 行動しようとしている。
		2年	・友達と相談して、解決すべき問題やみんなで作ってみたいことを見つけて出そうとしている。	・話し合うことについて自分の考えをもって話し合いに参加し、教師の助けを借りながら、話し合って決めようとしている。	・実践に向けて、自分のすることや頑張ることを明らかにしようとしている。	・話し合って決めたことを実現しようしたり、友達と仲良く活動しようとしている。	2年	・自分がやりたいことを見付け係をつくろうとする。	・自分から進んで、見通しをもって振り返ったりしながら係活動に取り組もうとしている。	・友達と仲良く助け合っ取り組もうとする。			中学年 楽しい集會活動をするために、見通しをもって、振り返ったりしながら取り組もうとしている。	中学年 自己の生活をよりよくするために、見通しをもって振り返ったりしながら、 意欲的に 課題解決に取り組み、他者と 協力し合っ てよりよい人間関係を形成しようとしている。	2年	
		3年	・身の回りの生活から問題点や改善点を発見し、自分たちの問題かどうかを決めようとしている。	・問題解決に向けて、自分の考えをしっかりと追求しようとしている。	・決まったことに対して、自分の役割を明らかにしようとしている。	・話し合って決めたことをとどく、自分の役割を果たそうしたり、みんなが楽しく活動できるようにしようとしている。	3年	・自分たちが学級のためにできる活動を見付け、係をつくろうとしている。	・より明るい生活づくりを目指し、協力し合っで見通しをもって振り返ったりしながら取り組もうとする。	中学年 楽しい集會活動をするために、見通しをもって、振り返ったりしながら取り組もうとしている。	中学年 自己の生活をよりよくするために、見通しをもって振り返ったりしながら、 意欲的に 課題解決に取り組み、他者と 協力し合っ てよりよい人間関係を形成しようとしている。	3年			・自分の生活を振り返り、意欲的に課題の解決に取り組もうとしている。	・他者と協力しようとしている。
		4年	・自分たちで解決できる問題を見つけて出し、問題解決に向けての見通しを取り入れて自分の考えを広げようとしている。	・問題解決に向けて、友達の考えを聞き取り自分の考えを広げようとしている。	・実践に向けて、自分のすることや頑張ることをや集団の中での役割をはっきりさせて、友達と助け合いながら活動しようとしている。	・話し合って決めたことを実現に向けて、友達と協力して活動しようとしている。	4年	・自分たちが学級のためにできる活動を見付け、係をつくろうとしている。	・より明るい生活づくりを目指し、協力し合っで見通しをもって振り返ったりしながら取り組もうとする。			高学年 楽しく豊かな集會活動にするために、見通しをもって、振り返ったりしながら取り組もうとしている。	高学年 自己の生活をよりよくするために、見通しをもって振り返ったりしながら、 自主的に 課題解決に取り組み、他者と 信頼し合っ てよりよい人間関係を形成しようとしている。	4年	・自分の生活について見通しをもって振り返ったりしながら、意欲的に課題の解決に取り組もうとしている。	・他者と協力してよりよい関係をつくろうとしている。
		5年	・自分たちの願いや問題を工夫して集め、議題を選択して決めようとしている。	・問題解決に向けて、多様な考えを整理しながら、自分の考えをはっきりしようとしている。	・実践に向けて、自分のすべきことや友達と協力してすべきことをはっきりさせて活動しようとしている。	・話し合って決めたことをとどく、自分の役割を果たそうしたり、みんなにとってよりよいものになるように考えて活動したりしようとしている。	5年	・より豊かな学級生活づくりを目指し、自主的に係活動に取り組もうとする。	・自分のよさを生かす活動を見付け、見通しをもって振り返ったりしながら取り組もうとしている。	高学年 楽しく豊かな集會活動にするために、見通しをもって、振り返ったりしながら取り組もうとしている。	高学年 自己の生活をよりよくするために、見通しをもって振り返ったりしながら、 自主的に 課題解決に取り組み、他者と 信頼し合っ てよりよい人間関係を形成しようとしている。			5年	・自分の生活について見通しをもって振り返ったりしながら、自主的に課題の解決に取り組もうとしている。	・他者を信頼しようとしている。
		6年	・学級・学年・全校の立場から要望や問題を集め、自分たちで解決すべき事項を議題として、選択して決定しようとしている。	・問題解決に向けて見通しをもち、多様な考えを整理しながら、自分の考えをはっきりさせようとしている。	・話し合って決めたことをとどく、みんなにとってよりよいものになるように考えて準備したり活動したりしている。	・話し合って決めたことをとどく、みんなにとってよりよいものになるように考えて準備したり活動したりしている。	6年	・より豊かな学級や学校の生活づくりを目指し、自主的に係活動に取り組もうとする。	・自分のよさや仲間のよさを生かす活動を見付け、見通しをもって振り返ったりしながら取り組もうとしている。			高学年 楽しく豊かな集會活動にするために、見通しをもって、振り返ったりしながら取り組もうとしている。	高学年 自己の生活をよりよくするために、見通しをもって振り返ったりしながら、 自主的に 課題解決に取り組み、他者と 信頼し合っ てよりよい人間関係を形成しようとしている。	6年	・自分の生活について見通しをもって振り返ったりしながら、自主的に課題の解決に取り組もうとしている。	・他者を信頼してよりよい関係をつくろうとしている。